



岳下っ子だより

梅の花が見頃を迎えています



今週は、気温が急に高くなり、季節がぐんと進みました。日当たりのよい花壇や畑には、タネツケバナやオオイヌノフグリなど、春の草花が花を咲かせていま

す。梅の花も次々に開き、見頃となりました。甘い春の香りがします。いつの間にか、すっかり春になりました。



学校評価アンケート調査の結果について

2学期末に実施しました「学校評価アンケート調査」には、多数ご協力いただきありがとうございます。大変遅くなりましたが、結果についてご報告いたします。

教育目標

進んで学び 心やさしく たくましく

思い描き「つたえる」 支え合い「つながる」 ねばり強く「つづける」

重点目標

やりたいことやなりたい自分を思い描き、自ら動き出す子どもの育成

◇ 進んで学ぶ(学び)

課題意識をもち、深く考え、自分の思いや考えを伝えながら進んで学習する子ども

◇ 認め合い、支え合う(心)

あいさつを交わし、互いのよさを認め合い支え合いながら、自覚をもって行動する子ども

◇ やりぬく(体)

自分のめあてに向かって進んで運動し、体力の向上と健康づくりに励む子ども

【「進んで学ぶ子ども」について】

- ・ 児童の問いから「めあて」を設定し、追究していく授業づくりに取り組んでおり、児童もめあて意識をもって学習に臨んでいる。
- ・ 児童の「話を聞いている」意識は高いが、教師は不十分と感じている。

- ・ 「考えを伝える」活動を位置付けた授業実践により、児童の「伝える」ことへの意識の高まりが見られる。保護者も、子どもの姿を通して成果を感じている。
- ・ 児童は学習内容が「わかる」と思っているが、保護者や教師は課題を感じている。
- ・ 児童の多くは「授業が楽しい」と感じているが、そうではない児童が2割程度存在する。
- ・ 児童の多くは家庭学習の習慣が「身についている」と感じているが、1/4ほどの保護者が課題を感じている。

○ 子どもたちは、めあてをもって追究することや、自分の考えをもって伝えることを意識して日々の学習に取り組んでいます。



- ・ 多くの子どもたちが学習に対して前向きに取り組んでいます。保護者や教師は、もっと質的に高めたいという思いをもっています。子どもたちの前向きな気持ちを大事にしつつ、「聴き合うこと」「伝え合うこと」を重視した授業づくりや、調査結果等に基づいた効果的な指導法を工夫していく必要があります。
- ・ 授業があまり楽しくないと捉えている子どもが2割程度いることをしっかりと受け止め、一人一人が学ぶ楽しさを味わえる授業づくり、学級・学校づくりに取り組んでいく必要があります。
- ・ 家庭学習の充実に向けて指導を継続するとともに、家庭との連携を図っていききたいと思います。

【「心やさしい子ども」について】

- ・ 多くの児童は「進んであいさつしている」と感じているが、教師は9割が「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」と回答している。
- ・ 多くの児童が「仲よく生活している」と感じているが、否定的に捉えている児童が1割弱存在する。
- ・ 多くの児童が「友だちのよいところを知っている」と感じているが、1割の児童が否定的に捉えている。
- ・ ほとんどの教師が、道徳の授業を通して道徳性が養われていると捉えているが、保護者が児童の姿から道徳性を見取ることは難しい。
- ・ 児童・保護者ともに9割が「学校の集団生活を楽しんでる」と捉えているが、一部に学校生活を楽しくしていない児童がいる。
- ・ 「コミュニケーションスキルを身に付けている」については、児童、保護者、教師ともに、2割程度が否定的あるいは「わからない」と回答している。

- 多くの子どもたちが、互いに認め合いながら、友だちと仲良く学校生活を送っています。そして、集団生活を楽しんでいます。
- ・ 1割程度、学校生活を十分に楽しめないでいる子どもがいます。「子ども一人一人を全教職員で守り育てていく」という共通認識をもつとともに、家庭との連携を深め、子どもの内面に寄り添い、支える体制を強化していく必要があります。
- ・ 学級活動等での話し合い活動を通してコミュニケーションスキルを高めるとともに、互いのよさを認め合い、自分のよさにも目を向ける学級・学校づくりにより、自尊感情を高めていく必要があります。
- ・ 道徳性については、教師が見取った子どもたちの姿を価値付け、保護者の皆さんにも伝えていく必要があります。
- ・ あいさつの声が小さいのが気になります。縦割り異学年交流、家庭や地域との連携を通して、あいさつを交わし合う学校・地域にしていきたいと思います。



【「たくましい子ども」について】

- ・ 「進んで運動している」については、3割程度の児童・保護者が「あまりしていない」と回答している。
- ・ 児童・保護者・教師の多くが「安全に気をつけて生活している」と感じているが、保護者や教師の1割程度が「あまりあてはまらない」と回答している。
- ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」については、2割程度の児童・保護者・教師が、十分ではないと捉えている。
- ・ 感染予防対策はほぼ身に付いたが、2割程度の教師が、ハンカチ・ティッシュの携帯等、保健衛生習慣が十分ではないと捉えている。
- ・ 「自分の体への関心」については、3割の保護者が否定的な回答をしている。
- ・ 「メディアコントロール」については、保護者6割、児童3割、教師4割が「できていない」と回答している。

- 子どもたちは、安全に気をつけるとともに、感染症予防を意識して生活しています。
- ・ 運動嫌いをなくすため、外遊びを奨励するとともに、運動の習慣化を図る活動を位置付ける必要があります。動ける体を作るために、家庭と連携した生活習慣の改善にも取り組んでいきたいと思います。
- ・ 見守り隊の方々のご協力により、登下校の安全が確保されていますが、本校の通学路は、狭く見通しの悪いところも多いので、「自分の命を守る」ための安全指導を継続していく必要があります。
- ・ 少数ですが、朝食の栄養バランス、「夜更かし・寝坊・食事抜き」等の課題のある児童が見られます。家庭との連携とともに、子どもたちの意識を高め、改善につなげていく必要があります。
- ・ 肥満傾向が進む傾向にあり、う歯の治療や睡眠時間の確保などにも課題があります。自分の体への関心を高める働き掛けを進めていく必要があります。
- ・ メディアコントロールは、大きな課題です。情報モラル教育とともに、家庭との連携を強化し、「メディアに負けない心」を育む必要があります。

☆ 学校に寄せられた意見

- 昨年度より行事等ができるようになり、岳下小オリエンテーリングなどの縦割り班活動や、新たな発想で趣向を凝らした運動フェスティバル等を楽しむことができて大変よかった。子どもの自覚をもって行動する姿が見られ、うれしく思った。
- タブレットを活用した授業等を積極的に取り入れていただき、感謝している。
- 学校生活を楽しんでいることが、何よりうれしい。
 - ・ 急な期日や日程変更で参観できなかったことがあった。変更は早めに知らせてほしい。
 - ・ 新たに企画した行事については、協力者にアンケートを取るなどして次回に反映させてほしい。
 - ・ ボランティア募集を早くしていただけると、予定を合わせて協力できるかもしれない。できる限り協力したい。
 - ・ 行事等の期日を分けての分散開催は、休暇を取りにくい。

連絡の遅れにつきましては、本当にご迷惑をおかけしました。深く反省しております。多くの保護者の皆様に教育活動を見ていただき、ご協力いただけますよう、早めの連絡に心がけて参ります。

- ・ 子どもの成長を見る機会がもっとあればよい。
- ・ 学年発表ではなく、コロナ禍前の「学習発表会」のような発表を見たい。
- ・ みんなで興味のあるものを見つけ、話し合い、楽しみながら学び取っていく学習を大事にしてほしい。
- ・ 学力向上に向け、学習の仕方の指導を強化してほしい。
- ・ 基本的な体の動かし方や技術などを指導してほしい。
- ・ 授業に集中できない子どもへのサポート体制を強化してほしい。
- ・ 給食での会話なしが可愛そう。
- ・ 市内の他校との交流があればよい。
- ・ コロナ禍で、以前より先生との距離を感じる。もう少し交流の場がほしい。
- ・ マスク着用の弊害にも目を向け、マスクを外せる環境を作してほしい。
- ・ 学級懇談や個別懇談時に、子どもが学校で待てるよう配慮してほしい。

コロナ禍の中、子どもたちにたくさんの我慢をさせてきましたが、来年度は制限が緩和され、できることが増えると思います。必要な感染対策や健康への配慮を講じつつ、**子どもたちの思いを受け止め、子どもたちが意欲をもって主体的に活動できる教育活動を構想していきたい**と思います。

来年度は、コミュニティ・スクール2年目で、創立150周年の取組もありますので、保護者の皆様や地域の方々にご協力いただくことも多々あるかと思えます。**授業参観や学校行事だけでなく、日々の教育活動においても、ご協力をお願いすることがありますので、よろしくお願いします。**子どもたちとの関わり合いが、単なる「参観」以上に深まると思えます。

子どもたちは、一人一人様々な個性や特性をもっています。一人一人の違いを受け止めつつ、よい方向に伸ばしていけるように、全教職員による支援体制を強化して参ります。**気になること、心配なこと等がございましたら、いつでもご相談ください。**